

---

# Lyrical Of Destiny 僞き孤独の魔法双剣士…

フリオニール

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

L y r i c a l   O f   D e s t i n y 僵き孤独の魔法双剣士...

### 【NZコード】

N3465P

### 【作者名】

フリオール

### 【あらすじ】

スタン達に敗れ……そのまま死にゆくはずの運命だったリオン・マグナス……だが……彼は生きていた……別世界で……

## プロローグ

とある洞窟

「なんの真似だ…リオン…」

「見ての通りだ……！」から先へ進みたければ、僕を倒す事だ…」

神の眼を持ち去つたヒューローを止めるべく…スタン、ルーティ、フイリア、ウッズロウは、かつて共に戦つた…リオン・マグナスと対峙していた……

「なに言つてんのアンター今がどんなに非常時な」とくら、わかつてんでしょ……」

「そんな事は関係ない…僕は『えられた役割を果たすだけだ…お前達を殺すといつな……』

「田を覚ますんだリオン君…君はヒューローに利用されているだけだ

！」

「その通りだ……僕はヒュー・ゴンにとって使い捨ての駒の一つに過ぎない……」

「そんな……そこまでわかっていて……どうして……！」

みんなが必死に説得するも……僕は受け入れはしなかった……いや……受け入れる訳にはいかなかつた……何故なら……僕には……

「僕には守るべきものがある…………それだけの事だ……」

……

「……僕は……ヒュー・ゴンに人質にとられた愛する人を……マリアンを……守りたい……その想いが……今の僕を動かしていた……」

……

「覚悟はいいか！いくぞ、スタン！！」

戦い始めてしばらくたつた……

「終わりだ！！奥義！！！淨破滅焼炎！！！」

ズバア！！！！

完全に決まった…………はすだつた…………だがスタンは、奥義をかいぐぐり…………

「な！？」

「うおお……殺劇……舞荒剣……だりやりやりやりや……！」

ズガガガガ！！

「ぬ……くう……！」

「だあありやああああああ！！！！！」

ドゴォン！！！

スタンの放つ剣撃と轟炎が僕を吹き飛ばした…………

「かはつ……？」

「はあ……はあ……リオン……なんで……？」

「スタン…………」

ドゴォン…………

突然洞窟が揺れだした…………恐らくはヒューゴがダイクロフトの

起動に成功したのだろう?

「なんだ！？」

「終末の 時計は 動き 出した もの 誰にも  
止められ ない 」

更に揺れが激しくなってきた……

「これは…まさか！水が流れ込んで来ているのか！？まさいぞ！早く逃げないと！！！」

「でも！リオンさんが！！」

「駄目！――間に合わない！」

ズガーン！！！！！

洞窟の壁を破つて水が流れてきたみんなは無事に

それが最後に聞こえた……………仲間の……………声だつた……………

「うして僕は死んだ」  
だが、なんの因果か、はたまた、神の気まぐれなのか、  
僕は、生きていた。

ザザアン

「海……なのか……」

「うやうやしく、浜辺に打ち上げられたらしく、だが、助かつたものだ」

タツタツタ.....

「...あれ?...え!?け 怪我人!...」

一人の少女が...僕に近づいてきた.....びつやら僕を見て驚いているようだ.....

(そうか...スタンとの戦いで.....)

「だ...大丈夫ですか!...えっと...えっと...」

びつやらかなり慌てているようだ.....確かに...体のあちこちが痛む...出血もしている.....

「あーお母さああん!...お母さああん!...」

少女が必死で呼ぶと...今度は母親であろう人が近づいてきた...

「どうしたの?...なのは...!...大変!...この子怪我してるじ  
やない!...」

「やうなの!...どうしよう!...」

「とにかく.....」

(?声が聞こえなくなった...視界もぼやけ.....)

そのまま...僕は...気を失った.....

次回に続く！！

なんとなく考えついた、みんなの勝利セリフ。「ナイルズ編」

なのは（少女期）、フュイト（少女期）、リオン。

「呪わえ引っ張られなければ」こんなものだ。」

「「そんなあー!?」」

スバル、ティアナ。

「見た見た! ティアナ!」

「見てなけど?」

「見ててよー?」

佑輔（東雲流）、リオン。

「俺達の剣にー!」

「…………ふん…………」

「…………乗らつぜりオーン…………（汗）」

佑輔（東雲流）、シグナム。

「俺達の剣に……」

「た……断てぬもの……なし……／＼／＼／＼

「こ……ちは恥ずかしがるんかい……（汗）」

エリオ、キャロ、佑輔（ガンダム）。

「僕達の勝ちです！……」

「強くなつたなあ、二人とも。」

「えへへ」

なのは（STS）、フハイド（STS）、はやて（STS）。

「ふう……こんなものかな？」

「うん、いい感じだったね。」

「ウチらの連携は完璧や」

佑輔（ガンダム）、「はやて（STS）、リイン」？

「勝ちました」「

「ユニゾンしたウチらを甘く見んことや」「

「…………俺は別の意味でユニゾンしたい」

「「……はい？」

佑輔（ガンダム）、「はやて（STS）、リイン？」  
part2  
(敵が女性の場合)

「お嬢さん……アナタに武器は似合わない……人生の転機として……俺と  
楽しくしつぽりとトークを……」

「…………なんやで……？（怒）」

「…………ナンデモアリマセン…………（汗）」

「懲りないですね～（汗）」

スバル、エリオ、キャロ、ティアナ。

「やつたあ

」

「「やつたあ

」

「「ひ……や……やつたあ……／＼／＼

なのは（少女期）、フュイート（少女期）、はやで（少女期）、リオ  
ン（シャルティン）。

「やつたあ

」

「「やつたあ

」

『ほり、坊つひやんもー』

「誰がするかー」

リオン、ユーノ（少年期）

「アイテム係」苦労だつたな。

「え……やつぱり僕やつて役回つなの……？」（汗）

クロノ（少年期）、リオン（シャルティH）、フェイト（少女期）

「これじゃ物足りないな。」

「ならここ辺の敵はお前が食い止めろ、僕達は先に進む。」

「お兄ちゃん、頑張つて。」

「え…あの…（汗）」

『二人とも……きついですね…（汗）』

スバル、リオン、ティアナ。（時間がかかった場合）

「見たか！これが私たちの実力だよ！」

「ああ、それがお前の実力だ。」

「そうね、それがアンタの実力よ。」

「…………（汗）」

ルーテシア、キャロ、佑輔（ガンダム）、ヴィータ。

「…………このメンバーツて…」

「まるでお父さんと娘たちって感じだね。」

「心配するな。俺よりかなあああり年上の人人が約一名いる。」

「てめえ……じつ意味か言つてみる…（怒）」「

「すいませんでしたああー…？」

ルーテシア、キヤロ、佑輔（ガンダム）、ヴィヴィオ。

「……このメンバーッて……」

「まるでお父さんと娘たちって感じだね。」

「…………（汗）」

「……パパって呼んでいい？」

「俺は……なのははと結婚した覚えはないって…（汗）」

佑輔（ガンダム）、なのは（シテシ）、フュイト（シテシ）

「はあ……」

「じつしたの？佑輔？」

「はやでがいないから寂しいんだよ。」

「いや……疲れただけなんだけど……（汗）」

佑輔（ ガンダム ） 、スバル、ティアナ。

「はあ……」

「どうしたの？ 疲れたの？」

「…………歳ね……」

「うつちは容赦ねえな！？」（泣）

佑輔（ ガンダム ） 、ティアナ。

「佑輔！ 無駄弾が多いわよ！」

「おかしいな……なんで当たらねえんだ……？」（汗）

リオン、なのは（少女期）、ユーノ（少年期）。

「結果は変わらん。そつ……何度もだ。」

「リオン君……強い……（汗）」

「容赦……ないよね……（汗）」

シグナム、リオン。

「なかなかやるな、リオン。」

「ふん、相手が弱すぎるだけだ。」

リオン、シグナム、佑輔（ガンダム）。

「…………」

「…………」

「お願いだからなにか喋ってくれやがりませんか！？」

リオン、フュイト（少女期）、ヴィータ。

「邪魔するものは全て斬る。」

「か……かっけええ……」

「私も……言つてみようかな……」

ティアナ、リオン、佑輔（ガンダム）

「ザ・シンデレチームー！」

「「誰がシンデレよ（だ）！」」

「ほひ、島ペッタリです」

なのは（S-T-S）、はやて（S-T-S（ゴリゾン状態））、佑輔（瀕死）、リオン。

「イッタタタ…（汗）」

「「『佑輔ー大丈夫、…………むづ…』」「

「…………リオンなんとかしてくれ…」」の空氣…（汗）」

「時間の無駄だ…付き合にきれるか…」

フェイト（S-T-S）、はやて（S-T-S（ゴリゾン状態））、佑輔（瀕死）、ティアナ。

「イッタタタ…（汗）」

「『『『佑輔！大丈夫、…………もう…』』』

「…………ティアナなんとかしてくれ…」の空氣…（汗）」

「知らないわよ…………佑輔の…バカ…」

なのは（S-T-S）、フヒイト（S-T-S）、はやて（S-T-S）、佑輔（東雲流）

「私たちは…」

「「「「負けない！…」」」

佑輔（メイドver）

「女装してるからって弱くなつてねえからなーーこんちくしょーー  
〜〜！？（泣）」

佑輔（メイドver）、リオン

「こつまやさんな話好じこむつだ……」

「したくしてゐわなじやねえや……（泣）」

佑輔（メイドｖｅｒ）、なのは（ＳＴＶ）

「…………ドリラして動きこなさ……（泣）」

「でも可愛こよへ」

「嬉しくねえ……（泣）」

佑輔（メイドｖｅｒ）、なのは（ＳＴＶ）

「はやで……もう勘弁してくれ……（泣）」

「今度はナースもええなあ

「聞いてねえし……（泣）」

佑子（洗脳メイドｖｅｒ）

「あいあい～ こいつの間でか終わっちゃったみたい」

佑子（洗脳メイドｖｅｒ）、「リオン（シャルルティイＨ）。

「うそ 元壁です」

『わが...同情しちゃいますね...』（汗）』

「.....ああ...」（汗）

佑子（洗脳メイドｖｅｒ）、「なのは（ＳＴＵ）、フハイト（ＳＴＵ）  
、はやで（ＳＴＵ）

「はい...終了です!」

「.....フハイトちがい...もつやめたげよ~」（汗）

「え?でも...結構ノリノリだよ~」

「それは洗脳じとむからやー!~」

フロイト（少女期）、なのは（少女期）、はやて（少女期）、リオング。

「邪魔するものは全て斬るよ……」

「結果は変わらなによ。アリ…何度やつてもね。」

「闇の炎に抱かれて消えや……」

「…………僕の真似をするな……（怒）」

リオン、なのは（少女期）、フロイト（少女期）、はやて（少女期）。

「死にたくないればそこをどうせ。」

「『』めんなさい…通してもいいだ……」

「私たちには進まなくてはいけないの……」

「そや…ウチらは…止まれへんのや……」

てな訳で思いつきましたやつで迷走して  
るかも…（汗）

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3465p/>

Lyrical Of Destiny 僕き孤独の魔法双剣士...

2010年12月22日20時40分発行